



肝付町立 波野中学校

生徒数 34人
学級数 4クラス



《テーマ》

いじめ、不登校等を含めた人権同和教育に関する様々な課題に応じた計画的・体系的な研究を通して、職員の意識の高揚や指導者としての資質向上を図る。

研究に当たって(テーマ設定の理由)

生徒相互の理解を深め、偏見や差別の不合理性に気付かせ、認め合い、共に助け合っていく生徒を育成するためには、教師が人権課題についての基本的な知識を身に付け、人権を守る実践的な行動力を高める必要がある。そこで、本テーマを設定することにした。

研究スケジュール

5月24日(月) 職員研修「仲間づくり」外部講師
6月11日(金) 福祉体験活動
8月2日(月) 職員研修「ハンセン病問題」外部講師
9月16日(木) 人権同和教育学習「ハンセン病問題」
10月4日(月) 職員研修「同和問題」外部講師
11月8日(月) 職員研修「LGBT」外部講師
12月4日(土)～10日(金) 人権週間、人権作文の朗読
12月10日(金) いのちの学習「性の多様性」

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

□ 職員研修「ハンセン病問題」

NPO法人「共に歩む会」の今村さんを講師に招き、ハンセン病問題について講話をしていただいた。ハンセン病問題が未解決によって起こる人権問題の現状やハンセン病問題とコロナ禍の共通点等について研修を深めることができた。



【職員研修「ハンセン病問題」】

□ 人権同和教育学習「ハンセン病問題について」

タブレット端末を使ってハンセン病の歴史や回復者の声、星塚敬愛園での生活等について調べ、広幅用紙にまとめて発表する学習活動を通して知識を深めた。回復者の勇気を知り、自分の生き方について考える貴重な時間となった。



【人権作文の朗読】

□ 人権コーナーの設置

人権週間に併せて人権コーナーを設置し、様々な人権問題の現状に関する掲示物やハンセン病に関する本の紹介等を通して、生徒・職員の人権意識の高揚を図った。

□ 人権作文の朗読

人権週間に給食時間を利用して、生徒による人権作文の朗読を行った。人権に対する様々な考え方に触れさせ、人権問題への意識化を図った。



【いのちの学習「性の多様性」】

□ いのちの学習

総合的な学習の時間に「いのちの学習」を設定し、ネットいじめ等の人権問題(1年生)、人権と性(2年生)、性の多様性(3年生)について調べ学習に取り組み、まとめた内容を発表するなどの学習活動を通して、知識を深めた。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと)

- 職員研修における外部講師による講話で、同和問題やハンセン病問題など個別の人権課題に対する理解と認識が深まった。
- 人権学習を通して人権に対する様々な考え方に触れ、自身と異なる価値観を否定せず、一人一人の人権を大切にする意識を高めることができた。
- 人権学習に取り組むことで、生徒の人権意識が高まり、北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールで全国表彰を受けた。
- ネット利用上の人権課題に対する取組を工夫していく必要がある。